

2011 年 04 月 27 日
製品評価技術基盤機構**「CHRIP のデータ追加 ～ver 2011.4～」のご案内**

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE、理事長：安井 至）では、国際調和を図りながら信頼性ある科学的データに基づいてリスク評価し適切な管理を行うために、「化学物質総合情報システム（CHRIP）」を整備しています。このシステムでは重点的に、経済産業省などの行政機関の協力の下、迅速に最新の化審法や化管法の法令情報等（下記参照）を CAS 番号*や名称で検索できるよう、配慮しています。今回新たに、**土壤汚染対策法に関する記述を追加し、より利便性を高めました。他に、化審法におけるリスク評価への対応として、解離定数や土壤吸着係数の項目を設けました。**

情報としては、①物理化学的性状などの基礎情報（CAS 番号*や対水溶解度など）、②暴露情報（製造・輸入量など）、③国内外法規制情報（化審法や REACH など）、④有害性情報（人及び環境）を掲載しています。

当機構はより一層、企業における化学物質管理法令の遵守及び自主管理の促進、自治体における化学物質管理、国民における化学物質の安全性に関する理解を深めるツールとして活用していただけるよう、持続的に更新していきます。

「CHRIP」公開ページURL<http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>**◎ポイント****新規情報（機能）の追加**

- 土壤汚染対策法対象物質の表示
- 物理化学性状に解離定数、土壤吸着係数の項目
- OECD/HPV**のSIAP***の日本語訳へのリンク
- EHC****のレポートの日本語抄訳へのリンク など

追加情報

- 構造式データ（365物質追加、合計約21,000物質）
- 日本語名称、英語名称（平成22年度累計整備数 671物質） など

* : アメリカ化学会の機関である CAS (Chemical Abstracts Service) が個々の化学物質もしくは化学物質群に付与している登録番号

** : OECD 加盟国において、1 カ国でも年間の製造量が 1,000 トンを超える場合、その物質を高生産量物質として点検事業の候補名簿に掲載しているものであり、最新の名簿は 2007 年にリスタップされた

*** : SIAM (SIDS 初期評価会議 : SIDS Initial Assessment Meeting) で評価された文書の一部

**** : WHO (世界保健機関)、ILO (国際労働機関) 及び UNEP (国連環境計画) により構成される IPCS (International Program on Chemical Safety ; 国際化学物質安全性計画) により作成、出版されている評価文書

お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構

化学センター情報業務課 赤尾

電話 : 03-3481-1811 (直通)

F A X : 03-3481-2900



独立行政法人 製品評価技術基盤機構

● 化学物質管理分野

Chemical Management Field